



北陸新幹線（敦賀・大阪間）の早期開業に関する要望書

# 要 望 書

令和5年11月

関西広域連合



## 北陸新幹線（敦賀・大阪間）の早期開業に関する要望書

北陸新幹線敦賀・新大阪間については、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会において、整備に向けた諸課題の検討が進められており、また、国土交通省では、令和4年12月に同プロジェクトチームの決議を受けて、「北陸新幹線（敦賀・新大阪間）の取扱いについて」で、「開業までの期間を最大限短縮するよう努めるとともに、施工上の課題を解決するなどにより、着工に向けた諸条件についての検討を深め、一日も早い全線開業を実現してまいりたい」と表明されたところである。このことを踏まえ、あらゆる手段を尽くして、新大阪駅まで一気に整備し、1日も早い全線開業を実現するため、政府・与党において、次の事項を実現するよう強く要望する。

- 1 沿線地域の意見を踏まえながら、環境アセスメントを地元調整も含め丁寧かつ迅速に進めること。
- 2 新幹線への公共事業費の拡充・重点配分、貸付料の前倒し活用や算定期間の延長、既設新幹線譲渡収入の活用、必要に応じ、財政投融资の活用等により、敦賀・新大阪間の建設財源確保の見通しを早期に立て、着工5条件を解決し、1日も早い認可・着工を実現すること。
- 3 施工上の課題を解決するための「北陸新幹線事業推進調査」について、最大限の予算を確保し、早期に課題を解決するとともに、事業費抑制に努め、開業までの期間を最大限短縮すること。また、調査にあたっては、国により、沿線自治体との情報共有を徹底した上で、沿線住民の理解を得ながら進めること。これらを踏まえて、調査を加速させ、駅位置・詳細ルート等を早期に確定・公表するとともに、認可・着工の時期及び全線開業に向けたスケジュール感を早急に明らかにすること。
- 4 広域交通ネットワークの一大ハブ拠点としての役割が期待される新大阪の駅位置については、既存の新幹線や在来線との乗換等の利用者利便性等を考慮すること。また、新大阪駅周辺地域のまちづくりの推進のためにも早期に駅位置を確定すること。
- 5 建設財源の確保にあたっては、国家プロジェクトにふさわしい十分な予算措置を講じること。なお、その際、コストの縮減を図るなど、沿線の地方自治体に過度の負担が生じないようにすること。
- 6 敦賀・新大阪間の整備に伴う並行在来線は存在しないと考えており、現にこれまでの整備新幹線で、新幹線の通らない県内の在来線や大都市近郊区間が、並行在来線として取り扱われた例はない。この考え方を確認すること。
- 7 金沢駅・敦賀駅間の開業から新大阪駅まで全線開業するまでの間、北陸・関西間の円滑な流動性を確保するため、スムーズに乗り換えられるダイヤの設定及び料金の負担軽減などの敦賀駅での乗換利便性の向上を図ること。

令和5年11月30日

関西広域連合

広域連合長 三日月 大 造（滋賀県知事）